

こどもDXプロジェクトの取組状況と成果

2024年12月17日_第3回_東京こどもDX2025 つながる子育て推進会議



東京都

GovTech 東京

一般財団法人GovTech東京
業務執行理事 兼 最高戦略責任者 (CSO)
畑中 洋亮 (Yosuke Hatanaka)

こどもDX 2025年度までに実現する4つのプロジェクト

プッシュ型
子育てサービス

アプリから必要な情報が先回りで届き、
知りそびれや申請忘れをなくす

母子保健オンライン
サービス (PMH)

デジタル庁が開発した基盤を活用し、
マイナンバーカード一つで医療費助成や
予防接種を可能に

保活ワンストップ

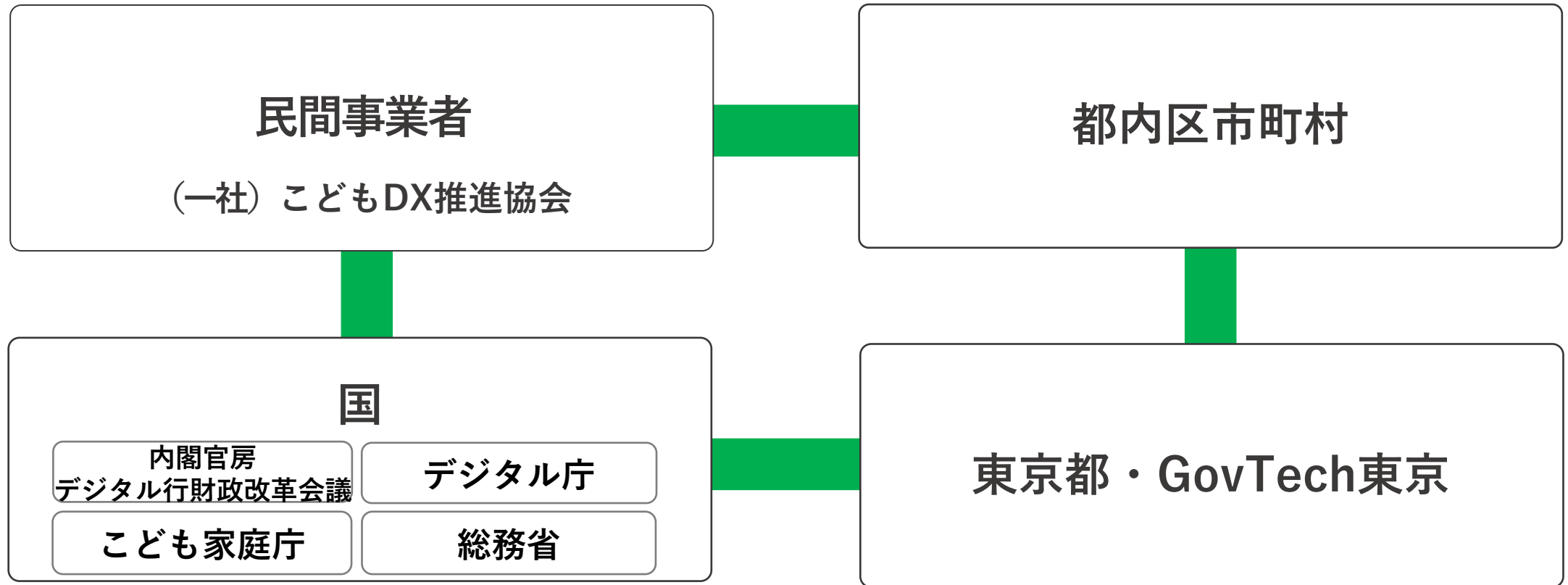
保育園探しから入園までの手続きがオンライン
で完結するワンストップシステムを実現

給付金手続きの
利便性UP

マイナンバーカードでスマホから申請できる
仕組みを導入し、ワンスオンリーの徹底や
簡単便利で爆速の手続きを実現

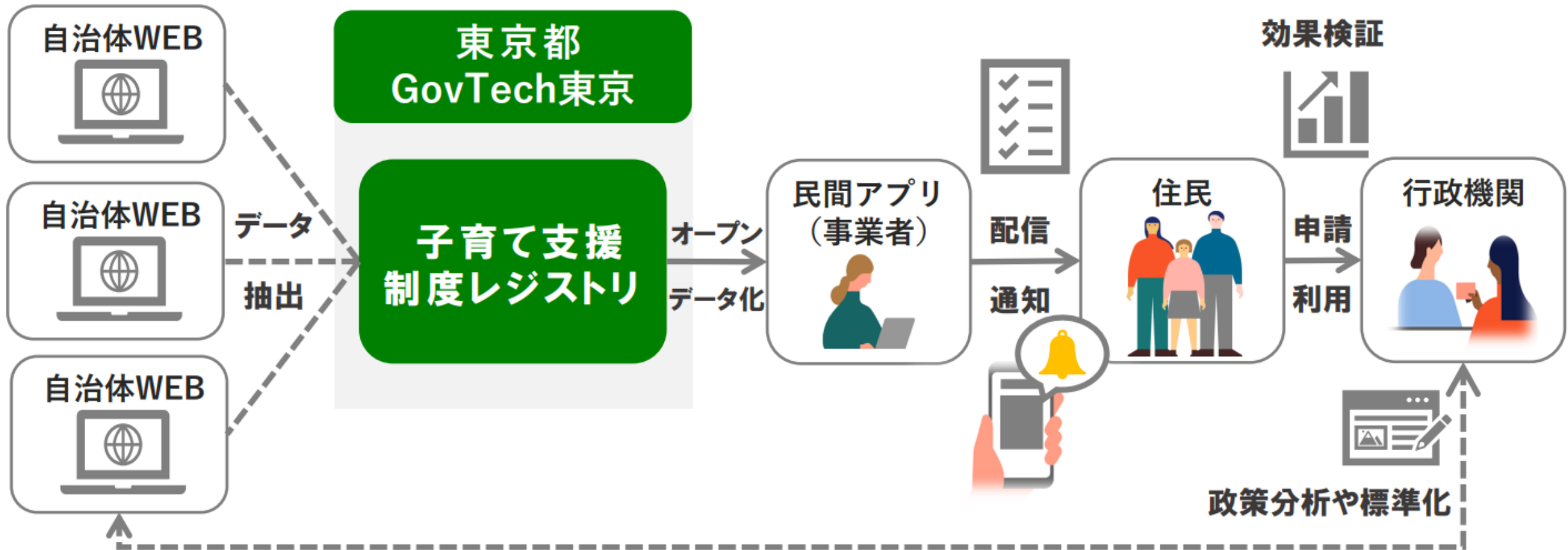
4者が連携した推進体制

東京こどもDX2025 つながる子育て推進会議



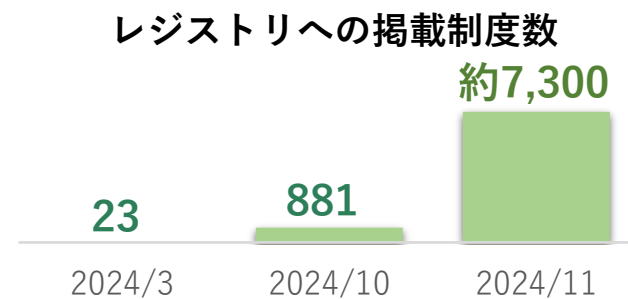
プッシュ型子育てサービス

アプリから必要な情報が先回りで届き、知りそびれや申請忘れをなくす



プロジェクト開始からの取組

- 都内全域で、プッシュ型で情報配信できるような環境を整備
 - 都内60自治体及び東京都の「子育て支援制度レジストリ」を国と連携して整備（残り2自治体は今後整備予定）
 - 約**7,300** 制度をオープンデータ化
- 国は、全国版の「子育て支援制度レジストリ」を整備中
- 先行プロジェクトでは、レジストリを活用したプッシュ配信を実施
 - **6**自治体（千代田区、豊島区、葛飾区、江戸川区、町田市、瑞穂町）で、こどもDX推進協会の会員事業者 **9**社の協力を得て、プッシュ配信



つくろう。愛される行政サービスを。



※ 上段は2024年3月より参画、下段は2024年8月より参画

先行プロジェクト実施結果

プッシュ配信の満足度

3.9点 (5点満点中)

情報配信数

58,300 (94制度)

閲覧者のうち自治体HPリンクを
クリックした割合

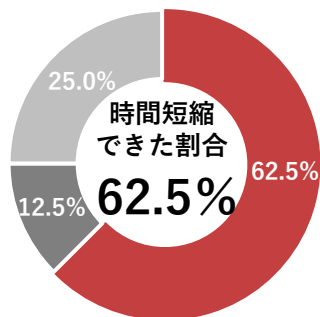
31.6%

プッシュ配信継続意向あり

5社

子育て当事者の声

自分で情報を探す場合と
比べて時間を短縮できたか

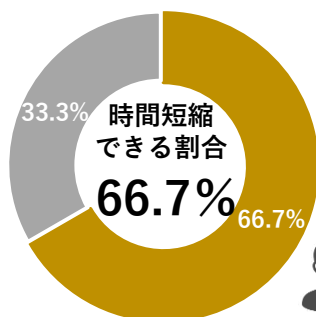


😊 予防接種の通知で、思い出せた

😞 保育園から小学校まで、子ども関係の事柄をすべて集約したようなアプリがあるとよい

参画事業者の声

制度情報の書き起こしの
削減時間 (1制度あたり見込み)



😊 制度情報書き起こしにかかる時間が減った

😞 レジストリの記載内容がわかりづらい等、改善の余地がある

先行自治体の声

😊 独自の公式LINEでもレジストリを活用したい

😞 レジストリ更新に係る作業負担を軽減してほしい

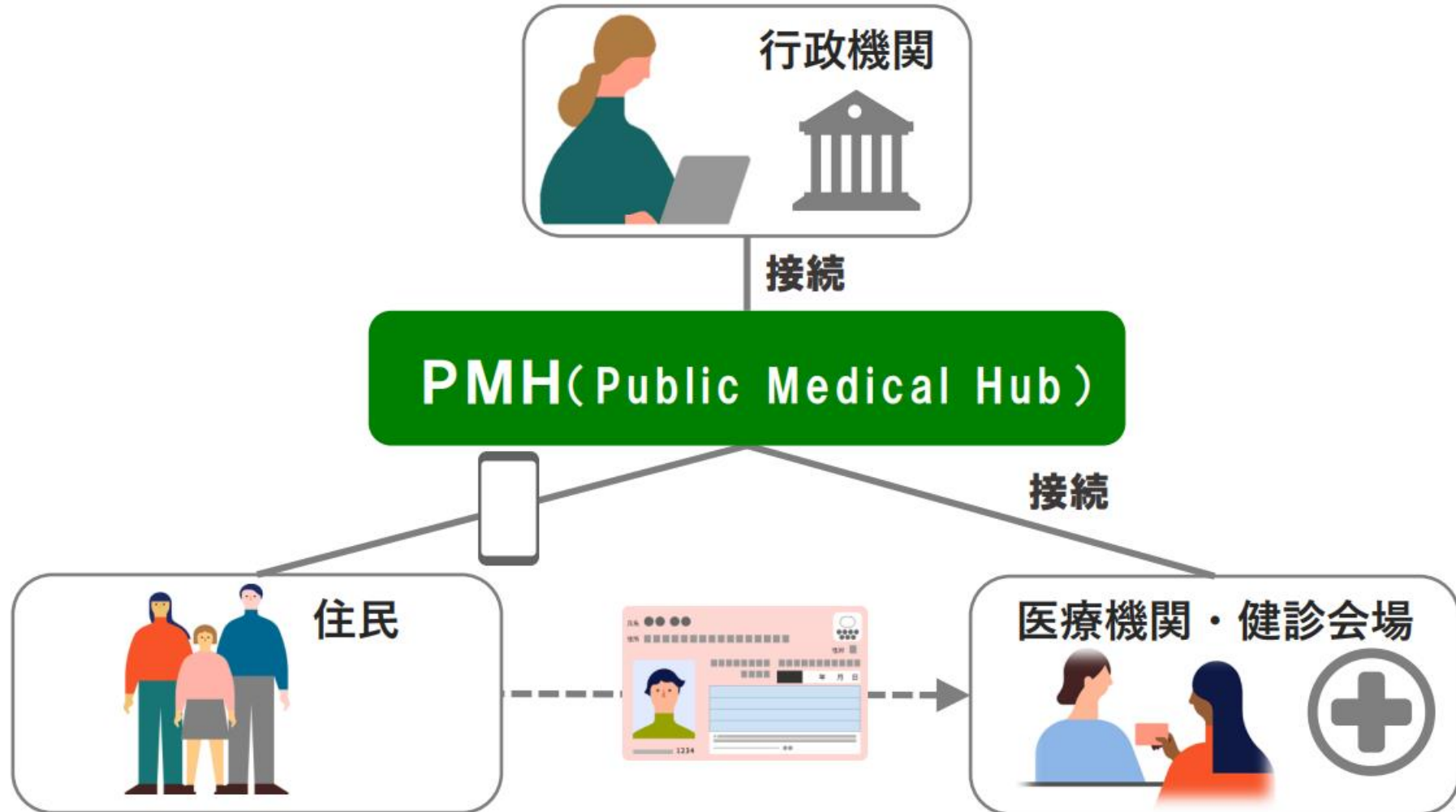
今後の取組

- 子育て当事者の利便性向上に向けて、**官民でのレジストリの活用促進**や、**掲載情報の更なる拡充**
- 自治体の負担軽減のため、産学官で連携し、**レジストリの更新作業を補助するツールの開発**
- 民間事業者がさらに活用しやすくなるよう、**レジストリを改善**



母子保健オンラインサービス（PMH）

デジタル庁が開発した基盤を活用し、マイナンバーカード一つで
医療費助成や予防接種を可能に



プロジェクト開始からの取組（東京都）

- 東京都所管の医療費助成（難病・小児慢性・精神通院等）について、今年度中にPMH接続予定
 - 東京都の医療費助成（難病・小児慢性・精神通院等）については、PMH接続が完了した医療機関等では、今年度中にマイナンバーカードを医療証として利用可能に
- 全ての都立病院で今年度中にPMH接続予定

東京都のR6補助事業において
PMH接続申請のあった
医療機関等数 ※12/16 8時現在
(引き続き、募集中)

 **288** 施設

< PMH接続予定の状況（東京都制度） >



医療費助成制度（都所管）の 都内利用者数

合計 約44万人

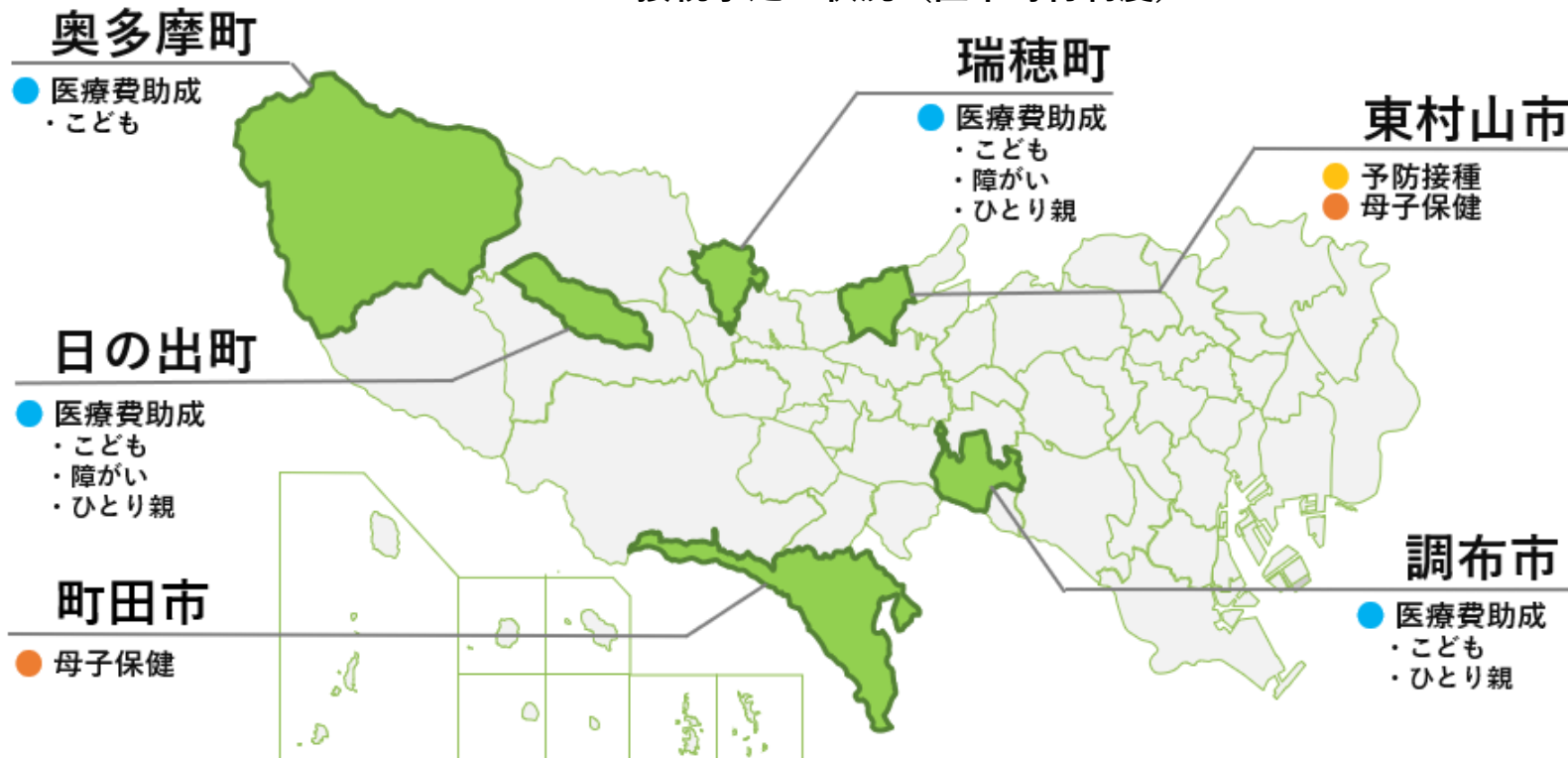
- ・ 難病医療費 約14万人
- ・ 小児慢性特定疾病医療費 約9千人
- ・ 精神通院(自立支援医療費) 約29万人

※R5年度利用実績より

プロジェクト開始からの取組（区市町村）

- 6市町（調布市、町田市、東村山市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町）が、今年度中にPMH接続予定
 - 区市町村所管の子供医療費助成等について、**デジタル庁と連携**した説明会や意見交換等を実施
 - 東京都とGovTech東京で連携し、**先行自治体と各医療システム事業者との調整**などを支援

<PMH接続予定の状況（区市町村制度）>



今年度PMH接続予定自治体
こども人口（0～18歳）

合計 **約13万1千人**

東京都全体のこども人口の約7%

- ・調布市 約3万6千人
- ・町田市 約6万5千人
- ・東村山市 約2万2千人
- ・瑞穂町 約4千人
- ・日の出町 約3千人
- ・奥多摩町 約400人

※R6年1月住民基本台帳より

プロジェクト開始からの取組（医療機関等）

- **医療機関等（病院・診療所・薬局）のPMH接続を促進するため、東京都において新たな補助制度を9月から開始**
 - 国の補助制度との連携や jGrants の活用により、**医療機関等の申請手続きを簡素化**



今後の取組

- **先行自治体域内の医療機関等を中心に、市町と協働し、東京都の補助制度も活用した医療機関等の接続を働きかけ**
- **利用者が利便性を実感した先行自治体の好事例を、区市町村や医療機関等に紹介**

保活ワンストップ

保育園探しから入園までの手続きがワンストップ・オンラインで完結

保護者



事前
相談

情報
収集

見学
予約

希望
決定

申請

結果
受領

ワンストップの入園システム

自治体
担当者



相談
受付

審査

結果
通知

プロジェクト開始からの取組

➤ 保活情報の連携基盤を構築し、民間保活サイトと保育ICTシステムを繋ぐことで、保育園探しから入園までの手続きがオンラインで完結する「保活ワンストップサービス」を、10月31日からスタート

- 連携 **3自治体**（板橋区、足立区、調布市）の、**126**の保育園が参加
- 東京都とGovTech東京が連携して**4か月**で爆速開発
- これまでに、**153**人が利用し、**247**件の見学予約を受付 ※12/16 12時現在



【保活ワンストップ PRロゴ】

<保活ワンストップサービスでできること>

2つの保活サイトで



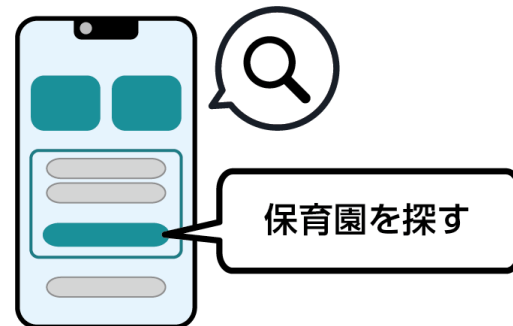
(提供事業者：BABY JOB 株式会社)

hoicil
by CoDMON

(提供事業者：株式会社コドモン)

保育園検索

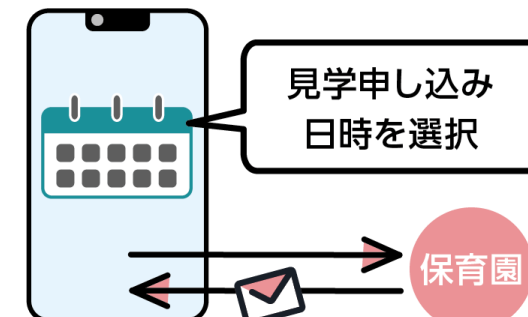
最新の情報を収集



保育園を探す

園見学予約

オンライン予約



見学申し込み
日時を選択

保育園

入園申請ページへ

保活ワンストップ

結果や成果

保活ワンストップに寄せられた声

保護者の声



利用者（保護者）の満足度
4.3点（5点満点中）

子育ての合間にいつでも見学予約できて良い

保活にかかる時間がかなり短縮されると思う

サービスの対象園がもっと増えてほしい

< SNSにおける声 >

保活はややこしい制度の理解、各園の情報収集から始まり、見学の予約、入所申請、決まらなければ2次申込と、かなりパワーを要する。保護者の負担軽減に貢献するはず。全国に広まることを願います！

保育園の声

電話で細かな見学案内や日程調整をする必要がなくなった

担当者の業務の状況に関係なく保護者を待たせずに受付できる



コメント欄も上手く活用して温かさを感じられる使い方を考えていきたい

連携自治体の声

保活ワンストップ

見学予約しやすくなって、より園を知ってもらうことができる

保護者に広く浸透すれば、さらに園の業務効率化になると思う



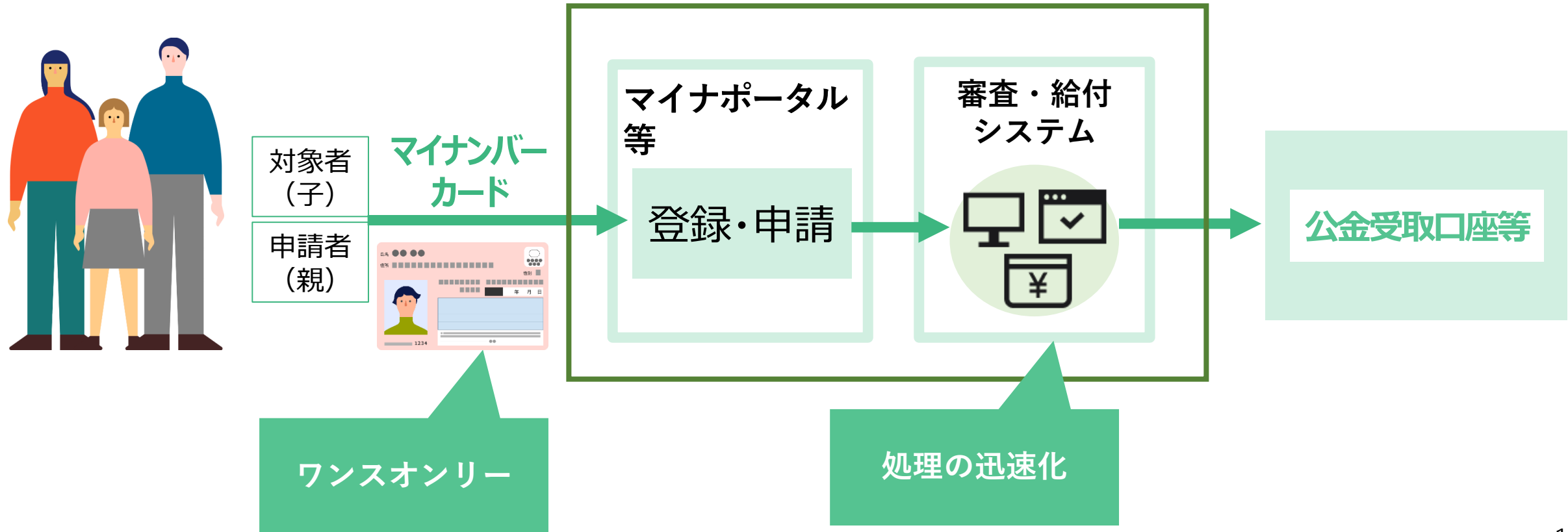
園の利便性も高まるよう、現場の意見を聴いてバージョンアップしてほしい

今後の取組

- 保護者や保育園職員など利用者の声を踏まえ、機能を改善・拡充
- サービスの利用者を増やすため、参画自治体・保育園を拡大

給付金手続の利便性UP

マイナンバーカードでスマホから申請できる仕組みを導入し、
ワンスオンリーの徹底や簡単便利で爆速の手続を実現

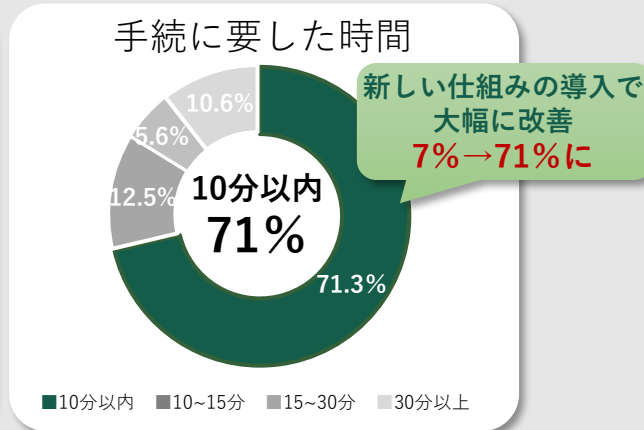
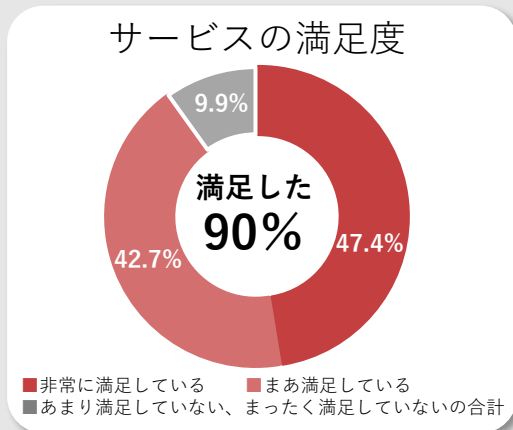


プロジェクト開始からの取組

- 「018サポート」において、デジタル庁が構築する給付支援サービスとの連携により、マイナンバーカードをスマートフォンにかざすことで申請できる新しい仕組みを導入
- デジタル庁と連携し、自治体に給付支援サービスの利便性を普及するための勉強会を実施
 - 給付支援サービスを導入済み又は導入予定の都内自治体は、東京都に加えて**6自治体** ※12/10現在 ※子育て分野以外含む

利用者アンケート結果

- 新しい申請サービスの利用者にアンケートを実施し、サービス改善に活用（回答者数約**3,900名**） ※12/6現在



保護者の声

マイナンバーカードでできると聞いてやってみたら、とても簡単でした。

出産直後で外出せずにオンラインで完結するのが助かります。

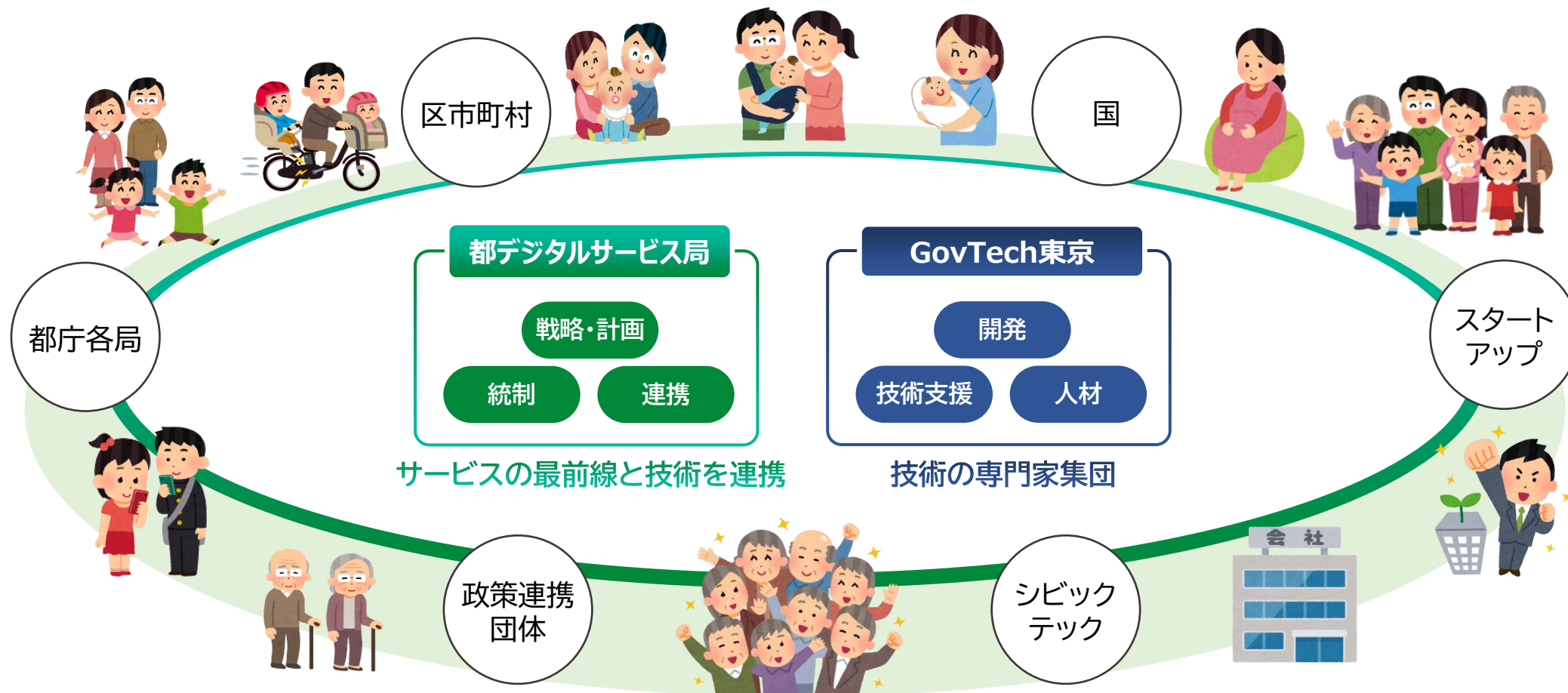
申請後の処理状況、進捗状況の確認ができず分かりにくい。



今後の取組

- 引き続き、利用者の意見を聞きながらサービスを改善し、**高い顧客満足度を維持**
- 東京都や区市町村における「**給付支援サービス**」の活用を促進

東京都が、行政サービス変革の推進力となる



“ 情報技術で行政の今を変える、首都から未来を変える ” (GovTech東京の理念)